記者発表資料

国土交通省

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

震災復興
進もう！次の東北へ

令和８年４月８日

国土交通省
東北地方整備局　福島河川国道事務所　郡山国道事務所
磐城国道事務所　三春ダム管理所
摺上川ダム管理所　小名浜港湾事務所
北陸地方整備局　阿賀野川河川事務所　阿賀川河川事務所

# 福島県内の東北・北陸地方整備局関係
# 令和８年度(2026 年度)事業概要について

福島県内において国土交通省が実施する令和８年度
(2026 年度)の事業概要についてお知らせします。

〈令和８年度の取り組みのポイント〉

令和８年度国土交通省予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり」を３本柱として、令和７年度補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進めるために必要な予算が計上されたところです。 また、社会資本整備については、ストック効果の最大化に取り組みつつ、予防保全型メンテナンスへの本格転換等既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、上記の３本柱の実現に資する波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開していく必要がある。

福島県内直轄事業における令和８年度の取り組みのポイントは下記のとおりです。

○ 令和元年東日本台風（台風第１９号）や令和４年３月福島県沖を震源とする地震災害等、相次ぐ大規模自然災害からの復旧・復興に向けて、インフラの整備を着実に推進します。

○ 気候変動により激甚化・頻発化する自然災害に屈しない強靱な国土づくりに向け、「第１次国土強靱化実施中期計画」を推進し、ハード・ソフト一体の水害対策『流域治水』の加速化・深化、高規格道路ネットワークの対災害性強化、通学路等の交通安全対策、航行船舶の安全確保や物流機能維持・効率化等のための港湾施設の対災害性強化、インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現等も含め、国民の安全・安心を確保する社会を構築します。

○ 持続的な経済成長の実現を図り、個性をいかした地域づくりと分散型国づくりを推進するため、人流・物流の円滑化・活性化を図る道路ネットワークの整備やその機能を最大限発揮するための渋滞対策等を推進します。

○ 東日本大震災の発生から１５年という節目を迎え、河川・道路・港湾といった基幹インフラの機能回復や防災・減災対策の強化など、地域の皆さまの暮らしや産業を支える基盤づくりを着実に進めきた一方で、震災から時間が経過し、当時の経験や教訓の風化が進むことが懸念されるため、震災の教訓を次世代へ伝え、未来の命を守る行動につなげていく事前防災教育、震災対応を通じて培った技術力と現場力の伝承に取り組みます。

○ 官民連携による建設業の担い手確保・育成および生産性向上に向け、インフラ分野におけるデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の推進等を通じて、「東北未来働き方・人づくり改革プロジェクト」の進化を図ります。

〈令和８年度　福島県内直轄事業当初予算〉　（単位：百万円）

| 事業区分 | | Ｒ８年度予算 | Ｒ７年度予算（参考） |
|---|---|---|---|
| 河川関係事業費 | 国交省計上分 | ２，２９８ | ２，０５２ |
| | 計 | ２，２９８ | ２，０５２ |
| 道路関係事業費 | 国交省計上分 | １７，１６４ | １７，６５４ |
| | 計 | １７，１６４ | １７，６５４ |
| 港湾関係事業費 | 国交省計上分 | １，３８５ | １，３６９ |
| | 計 | １，３８５ | １，３６９ |

※上記のほか、直轄（河川）の災害復旧費として１，９５７百万円がある。
※維持修繕関係事業費等は除く。
※工事諸費等は除く。

〈発表記者クラブ〉
○福島県政記者クラブ　○福島市政記者クラブ　○郡山記者クラブ
○会津若松市記者クラブ　○いわき記者会　○いわき記者クラブ
○いわき市広報広聴課　○南相馬記者会

【問い合わせ先】

**◎国土交通省 東北地方整備局**

| | | |
|---|---|---|
| ○福島河川国道事務所 | TEL 024-546-4331 | |
| 副所長（河川） | 畑井（はたい） 言介（げんすけ） | （内線 204） |
| 副所長（道路） | 岩渕（いわぶち） 賢一（けんいち） | （内線 205） |
| ○郡山国道事務所 | TEL 024-946-0333 | |
| 副所長 | 成田（なりた） 信太郎（しんたろう） | （内線 204） |
| 副所長 | 石川（いしかわ） 茂（しげる） | （内線 205） |
| ○磐城国道事務所 | TEL 0246-23-2211 | |
| 副所長 | 佐々木（ささき） 文克（ふみかつ） | （内線 204） |
| 副所長 | 永山（ながやま） 浩仁（ひろひと） | （内線 205） |
| ○三春ダム管理所 | TEL 0247-62-3145 | |
| 所長 | 岩花（いわはな） 賢（さとし） | （内線 201） |
| ○摺上川ダム管理所 | TEL 024-596-1275 | |
| 所長 | 有路（ありじ） 央（ひさし） | （内線 201） |
| ○小名浜港湾事務所 | TEL 0246-53-7100 | |
| 副所長 | 伊藤（いとう） 毅志（つよし） | （内線 302） |

**◎国土交通省 北陸地方整備局**

| | | |
|---|---|---|
| ○阿賀野川河川事務所 | TEL 0250-22-2211 | |
| 副所長 | 梅田（うめた） ハルミ | （内線 204） |
| ○阿賀川河川事務所 | TEL 0242-26-6441 | |
| 副所長 | 後藤（ごとう） 博正（ひろまさ） | （内線 204） |

# 【令和8年度　福島県内　主要事業一覧】

| 事業区分 | | 事業名 | 市町村名 | 完成予定<br>開通目標<br>年　度 | R8事業費<br>（百万円） | R8事業内容 | 頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●新規事業箇所 | | | | | | | |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（池下交差点改良事業） | 須賀川市 | ― | 26 | 調査設計 | P1 |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（アサヒビール園前交差点改良） | 本宮市 | ― | 15 | 調査設計 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（塩田交差点改良） | 本宮市 | ― | 15 | 調査設計 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（舟形石入口交差点改良） | 二本松市 | ― | 15 | 調査設計 | P1 |
| 道路 | 直轄 | 国道49号　中亀田地区電線共同溝 | 郡山市 | ― | 20 | 調査設計 | P2 |
| ●主要継続事業 | | | | | | | |
| 河川 | 直轄 | 阿賀川　河川改修事業<br>（下流狭窄部改修（山科地区）） | 喜多方市 | ― | （　493　） | 河道掘削等 | P3 |
| 河川 | 直轄 | 阿賀野川総合水系環境整備事業<br>（阿賀川中流域自然再生事業） | 河沼郡湯川村 | R20 | 180<br>福島県、<br>（新潟県の<br>R8当初全<br>体事業費 | 掘削・伐採 | P3 |
| 河川<br>（砂防） | 直轄 | 滝坂地区直轄地すべり対策事業 | 西会津町 | R12 | （　478　） | 集水井工　等 | P4 |
| 河川 | 直轄 | 阿武隈川上流<br>河川大規模災害関連事業 | 伊達市、桑折町、<br>国見町、福島市、<br>本宮市、郡山市、<br>須賀川市、玉川村、<br>鏡石町、　矢吹町 | R15 | （　1,957　） | 橋梁架替、遊水地等 | P4 |
| 河川<br>（砂防） | 直轄 | 阿武隈川水系<br>直轄砂防事業（前川第1砂防堰堤） | 福島市・<br>山形県米沢市 | R9 | （　926　） | 砂防堰堤工 | P5 |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　矢吹鏡石道路 | 矢吹町<br>～鏡石町 | ― | 400 | 調査設計、用地買収 | P6 |
| 道路 | 直轄 | 国道6号　勿来バイパス | いわき市 | ― | 1,820 | 調査設計、埋蔵文化財調査、支障物移転、改良・橋梁工事 | P6 |
| 道路 | 直轄 | 国道13号　福島西道路（Ⅱ期） | 福島市 | ― | 5,220 | 調査設計、埋蔵文化財調査、支障物移転、改良・橋梁・トンネル工事 | P7 |
| 道路 | 直轄 | 国道49号　北好間改良 | いわき市 | ― | 590 | 調査設計、用地買収、支障物移転、改良・橋梁工事 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道49号　好間三和防災 | いわき市 | ― | 260 | 調査設計 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道49号　会津防災 | 柳津町<br>～西会津町 | ― | 750 | 調査設計、支障物移転、橋梁工事 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道121号　湯野上バイパス | 下郷町 | ― | 5,770 | 調査設計、支障物移転、改良・橋梁・トンネル工事 | P7 |
| 道路 | 直轄 | 主要地方道<br>浪江国見線　伊達崎橋修繕代行事業 | 桑折町 | ― | 650 | 調査設計、<br>橋梁補修工事 | P8 |

・事業費の（　）の金額は、以下河川・水系単位の全体額
阿賀野川水系（福島県）、阿武隈川水系（福島県）、阿武隈川水系（福島県・山形県）

# 【令和8年度　福島県内　主要事業一覧】

| 事業区分 | | 事業名 | 市町村名 | 完成予定<br>開通目標<br>年　度 | R8事業費<br>（百万円） | R8事業内容 | 頁 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●主要継続事業 | | | | | | | |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（泉崎地区事故対策） | 泉崎村 | － | 160 | 改良工事、用地買収、支障物移設 | P8 |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（二本松地区事故対策） | 二本松市 | － | 150 | 調査設計、舗装工事 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島4号交通安全対策<br>（伏拝交差点事故対策） | 福島市 | － | 175 | 調査設計、舗装工事 | P9 |
| 道路 | 直轄 | 国道6号　福島6号交通安全対策<br>（双葉地区事故対策） | 双葉町 | － | 303 | 調査設計、改良工事、橋梁工事 | P9 |
| 道路 | 直轄 | 国道13号　福島13号交通安全対策<br>（中野地区事故対策） | 福島市 | － | 170 | 調査設計、改良舗装工事 | P10 |
| 道路 | 直轄 | 国道49号　福島49号交通安全対策<br>（藤大田地区付加車線整備） | 柳津町 | － | 220 | 調査設計、改良工事 | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　大黒町地区電線共同溝 | 須賀川市 | － | 234 | 調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む） | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　黒岩地区電線共同溝 | 福島市 | － | 170 | 調査設計、本体工事（引込連系管路工事含む） | － |
| 道路 | 直轄 | 国道4号　松山町地区電線共同溝 | 福島市 | － | 153 | 調査設計、本体工事（引込連系管路工事含む） | P10 |
| 港湾 | 直轄 | 小名浜港 国際物流ターミナル整備事業 | いわき市 | R15 | 1,191 | 防波堤整備 | P11 |
| 港湾 | 直轄 | 相馬港 予防保全事業 | 相馬市、新地町 | － | 194 | 防波堤改良 | P11 |

| ●道路調査の見通し | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 道路 | 直轄 | 国道4号　福島北道路 | 概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査） | － |
| 道路 | 直轄 | 国道6号　小名浜地区（林城～飯田） | 都市計画・環境アセスメントを進めるための調査 | － |

位置図の出典：地理院地図に事業箇所等を追記して記載

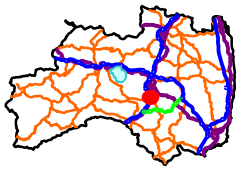
## 国道4号　福島4号交通安全対策（池下交差点改良）

R8：26百万円

開通予定：ー

| 新規 | 福島県須賀川市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

須賀川市街地に位置する当該交差点において、右折レーンにて右折車両が連続し滞留することにより、直進車の通行が阻害され、追突事故が発生しています。そのため、右折レーンの延伸等を含む交差点改良を行います。









▲交差点混雑状況

右折レーン延伸により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

## 国道4号　福島4号交通安全対策（舟形石入口交差点改良）

R8：15百万円

完成予定：ー

| 新規 | 福島県二本松市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

【事業内容】

二本松市郊外に位置する当交差点は、右折車の滞留により直進車の追突事故が発生しており、事故危険区間に位置づけられていることから、右折レーンの延伸を行い、交通の円滑化及び交差点の安全性の向上を図ります。







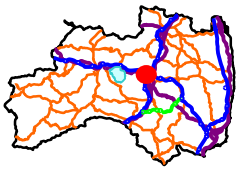
▲右折レーンに入りきれない様子

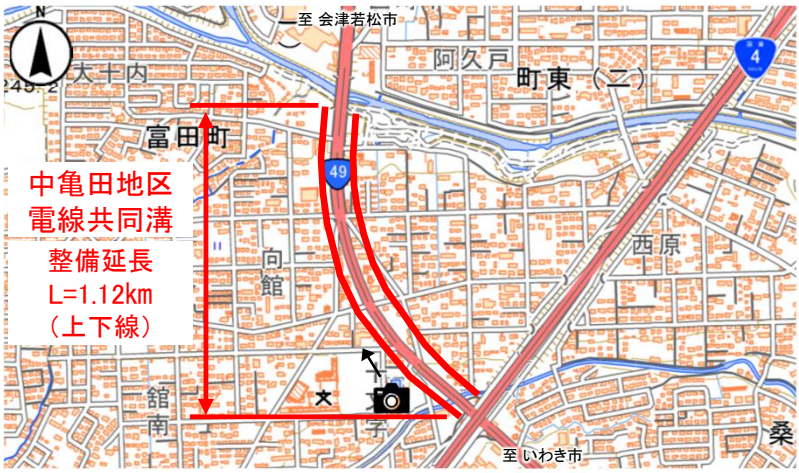
# 国道49号　福島49号電線共同溝（中亀田地区）

| R8：20百万円 | |
|---|---|
| 開通予定：― | |

| 新規 | 福島県郡山市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

中亀田地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。









▲国道49号の電柱状況

無電柱化により、災害時のおける緊急輸送道路の確保を図ります。

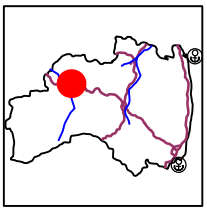
## 阿賀川　河川改修事業（下流狭窄部改修（山科地区））

R8事業費:493百万円※

| 継続 | 福島県喜多方市 | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

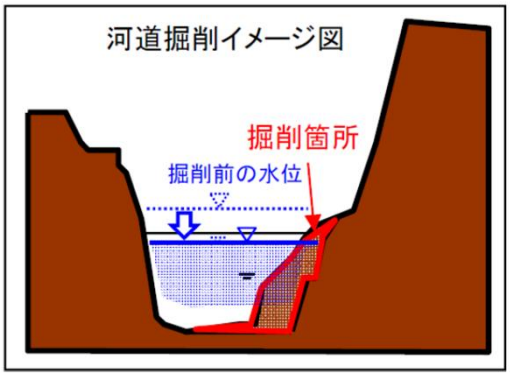
※上記の事業費は当該水系の福島県分の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀野川水系における流域治水の一環として、阿賀川（山科地区）において河道掘削等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。






**河道掘削により狭窄部上流の水位低下を図り、治水安全度を向上させます。**



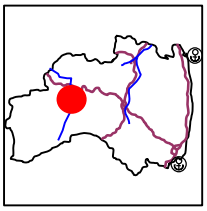

## 阿賀野川総合水系環境整備事業（阿賀川中流域自然再生事業）

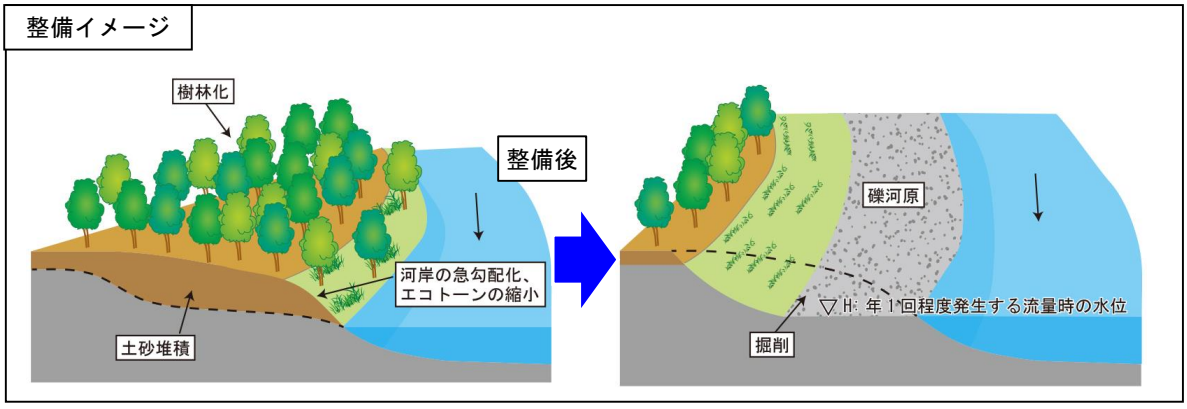
R8事業費:180百万円※

| 継続 | 福島県河沼郡湯川村 | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

※上記の事業費は阿賀野川総合水系環境整備事業のR8当初全体事業費（工事諸費を除く）を記載

阿賀野川水系における流域治水の一環として、河原で見られる動植物や陸封型イトヨ等の動植物の生息・生育・繁殖環境の再生・創出を目指して「礫河原環境の保全・再生」と「多様な水域環境の再生」に取り組みます。





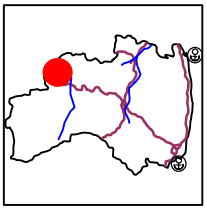
# 滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進

R8事業費:478百万円

完成予定R12

| 継続 | 福島県耶麻郡西会津町（やまぐん にしあいづまち） | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

滝坂地すべりの活動が活発化した場合、阿賀川の河道閉塞に伴う湛水により大規模な水害・土砂災害が発生してしまう危険性があるため、重点的に地すべり対策を実施しています。





滝坂地区地すべりの全景

**地すべり対策事業の推進により土砂災害に対する地域の治水安全度の向上を図ります。**


S33年頃
引牧（ひきまき）の住居軒下の開口亀裂


H6年頃
袖ノ沢（そでのさわ）地区の地割れ

# 阿武隈川（あぶくまがわ）上流　河川大規模災害関連事業

R8：1,957百万円

完成予定：R15

| 継続 | 福島県伊達市（だて）、伊達郡桑折町（だてぐん こおりまち）、伊達郡国見町（だてぐん くにみまち）、福島市、本宮市（もとみや）、郡山市（こおりやま）、須賀川市（すかがわ）、石川郡玉川村（いしかわぐん たまかわ）、岩瀬郡鏡石町（いわせぐん かがみいしまち）、西白河郡矢吹町（にしらかわぐん やぶきまち） | 河川 | 直轄 |
|---|---|---|---|

令和元年東日本台風に伴う洪水により、阿武隈川では越水・溢水（いっすい）が発生し、本川上流部や支川では堤防決壊等が発生するなど、流域全体で甚大な浸水被害となったことから、本川・支川の抜本的な治水対策を推進します。


市街地における大規模な浸水状況

橋梁架替、遊水地等を実施し、洪水時の水位を低下させます。

【遊水地（イメージ）】





河川大規模災害関連事業

※事業範囲の旗揚げ及び赤着色は、当該事業全体の事業範囲を示しており、令和8年度当初予算の事業範囲のみを示すものではありません。

# 阿武隈川水系直轄砂防事業（前川第１砂防堰堤）

R8：926百万円※

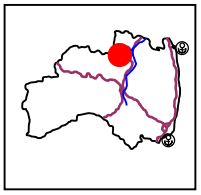
完成予定：R9

| 継続 | 福島県福島市・山形県米沢市 | 河川（砂防） | 直轄 |
|---|---|---|---|

※上記の事業費は、当該水系（福島県・山形県）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

阿武隈川水系では、近年の豪雨等に伴い流域内に多数の崩壊箇所や、渓流等が荒廃し、土砂・洪水氾濫の危険性が高まっていることから、土砂・洪水氾濫対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

令和8年度は砂防堰堤整備を実施します。








# 国道4号　矢吹鏡石道路（やぶきかがみいし）

R8：400百万円

開通予定：ー

| 継続 | 福島県西白河郡矢吹町（にししらかわ　やぶきまち）～岩瀬郡鏡石町（いわせ　かがみいしまち） | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

国道4号　矢吹鏡石道路は、矢吹町～鏡石町の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とする4車線拡幅事業です。




▲矢吹鏡石道路の周辺状況




▲国道4号の混雑状況

矢吹鏡石道路の整備により、交通混雑の緩和等が図られます。

# 国道6号　勿来（なこそ）バイパス

R8：1,820百万円

開通予定：ー

| 継続 | 福島県いわき市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

国道6号　勿来（なこそ）バイパスは、災害時の代替路の確保及び交通混雑の緩和等を目的とする延長4.4kmのバイパス事業です。




▲勿来バイパスの周辺状況

開通済
事業中




▲国道6号の交通混雑状況

勿来バイパスの整備により、災害時の代替路の確保、交通混雑の緩和等が図られます。

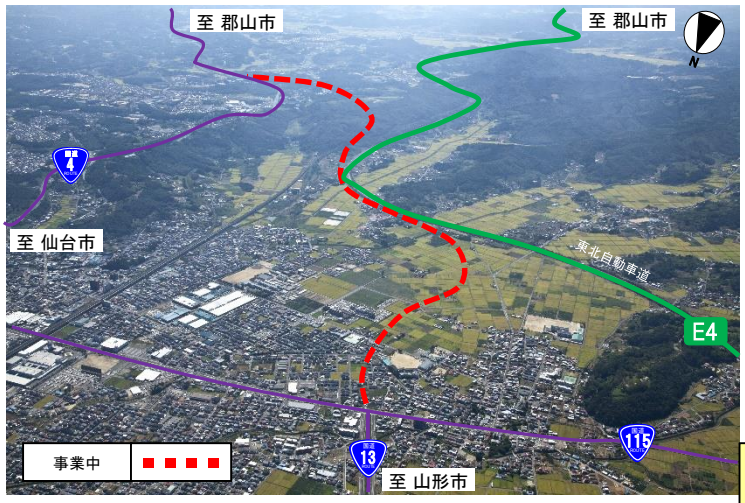
# 国道13号　福島西道路(Ⅱ期)

R8：5,220百万円

開通予定：ー

| 継続 | 福島県福島市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

国道13号　福島西道路(Ⅱ期)は福島都市圏南部の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害に強い道路ネットワークの確保等を目的とする道路です。




▲福島西道路(Ⅱ期)の周辺状況




▲国道4号の大雨による法面崩壊

福島西道路(Ⅱ期)の整備により、渋滞緩和、急勾配区間の回路による交通事故の減少が図られます。

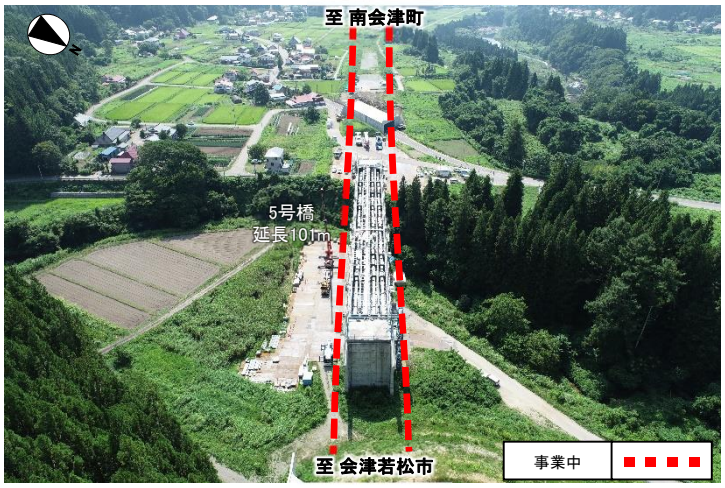
# 国道121号　湯野上バイパス

R8：5,770百万円

開通予定：ー

| 継続 | 福島県南会津郡下郷町 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

国道121号　湯野上バイパスは、会津縦貫南道路の一部を構成し、広域的な連携を推進するほか、南会津地域～会津若松市における通行規制区間や交通隘路区間の解消などを目的とする自動車専用道路です。




▲湯野上バイパスの周辺状況




▲国道121号の冬期交通状況

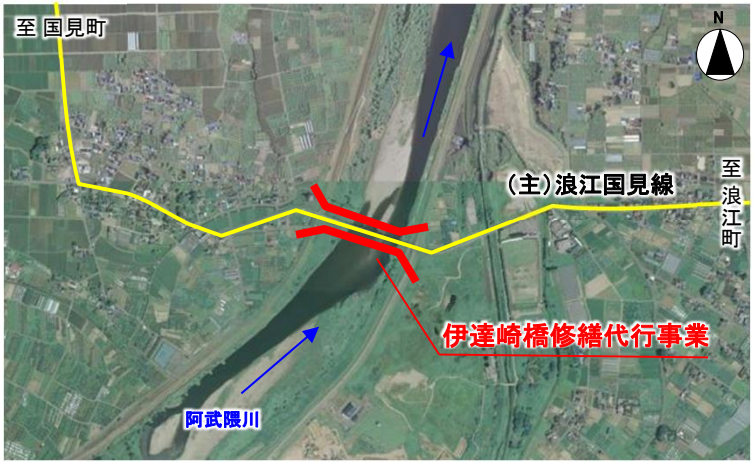
湯野上バイパスの整備により、災害時のリダンダンシー確保や速達性向上等が図られます。

## （主）浪江国見線　伊達崎橋修繕代行事業

R8：650百万円
開通予定：―

| 継続 | 福島県伊達郡桑折町 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

伊達崎橋は、福島県が管理する（主）浪江国見線の阿武隈川に架かる橋梁であり、橋脚基部でのコンクリートの剥離や一部鉄筋のはらみ出しや破断及び河床洗掘等が確認されているため、国による修繕代行事業として保全対策を行うものです。




▲伊達崎修繕代行事業の周辺状況




▲伊達崎橋 全景

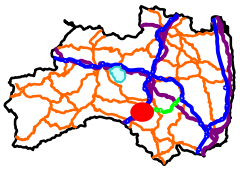
橋梁保全対策の実施により橋梁の健全度確保や延命化を図り、安全かつ円滑な車両の通行を確保します。

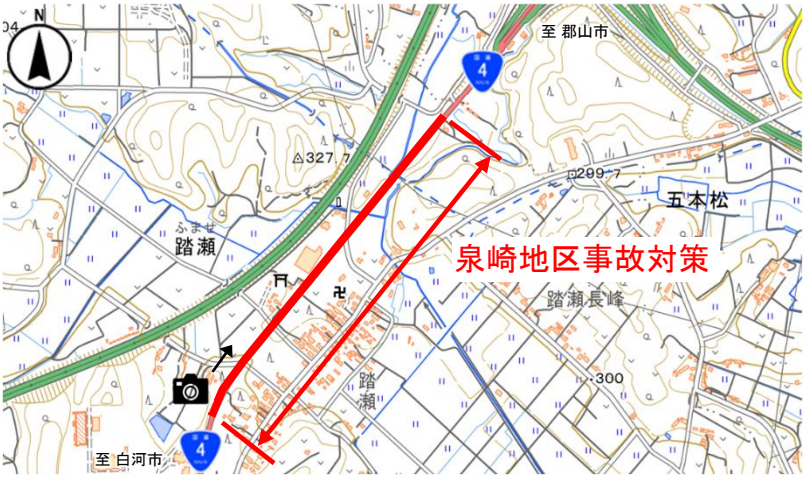
## 国道4号　福島4号交通安全対策（泉崎地区事故対策）

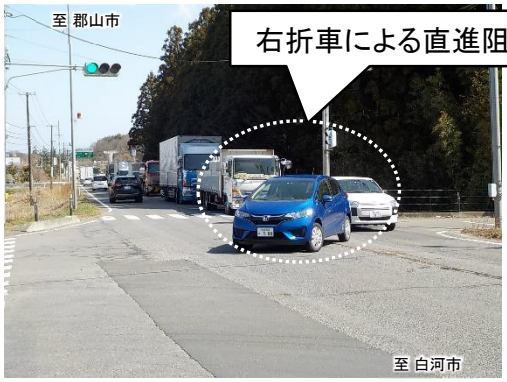
R8：160百万円
開通予定：―

| 継続 | 福島県西白河郡泉崎村 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

当該箇所は、対面2車線区間であり、信号交差点には右折レーンがないため、右折車による直進阻害が追突事故の原因となっています。そのため、右折レーン設置等により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。






▲右折レーン未整備状況（熊野森交差点）

右折レーン設置等により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

| 国道4号　福島4号交通安全対策（伏拝交差点事故対策） | | R8：175百万円<br>完成予定：ー | |
|---|---|---|---|
| 継続 | 福島県福島市 | 道路 | 直轄 |

【事業内容】
　福島市郊外に位置する当交差点は、急減速・急停止による追突事故や、右折時の事故が発生しており、事故危険箇所に位置づけられていることから、交差点の改良や注意喚起表示を行い、交差点の安全性の向上を図ります。



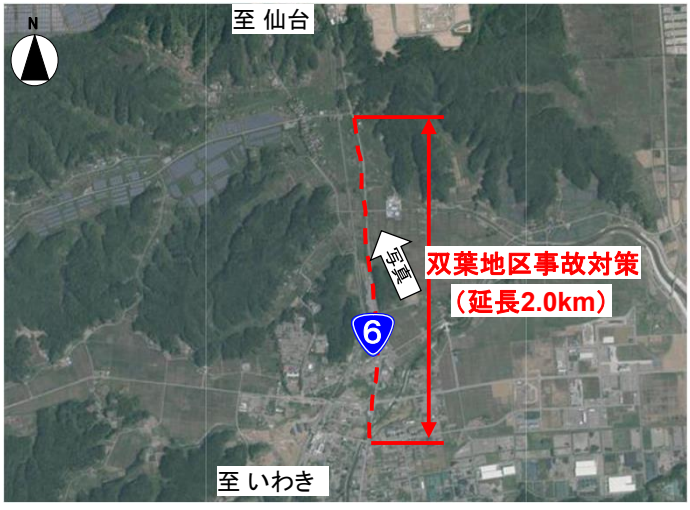




▲交差点内の危険挙動

| 国道6号　福島6号交通安全対策（双葉地区事故対策） | | R8：303百万円<br>開通予定：ー | |
|---|---|---|---|
| 継続 | 福島県双葉郡双葉町 | 道路 | 直轄 |

　双葉町郊外の北部に位置する当区間は、速度低下による追突事故等が発生しています。このため、付加車線等の整備を実施します。





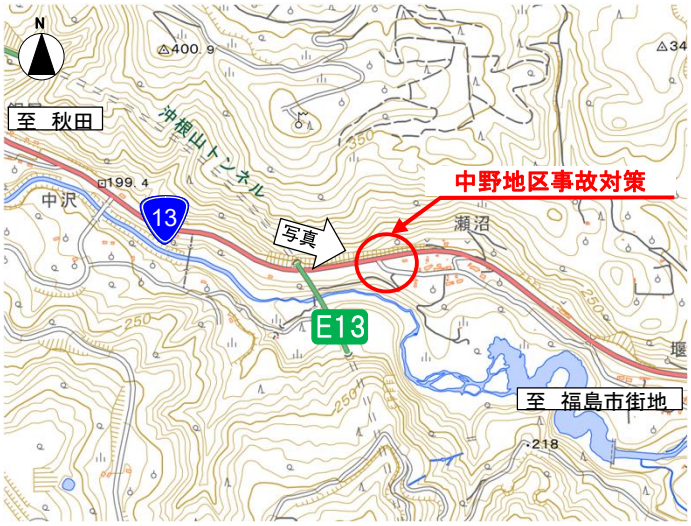


▲通勤時間帯の交通混雑状況

付加車線等の整備により、交通事故の削減及び交通の円滑化が図られます。

| 国道13号　福島13号交通安全対策（中野地区事故対策） | | R8：170百万円<br>完成予定：ー | |
|---|---|---|---|
| 継続 | 福島県福島市 | 道路 | 直轄 |

【事業内容】
　福島市の郊外に位置する当該箇所は、右折車線が設置されていないことから、後続の直進車による追突事故が発生しており、事故危険区間に位置づけられていることから、右折車線の設置による交差点改良を行い、交差点の安全性の向上を図ります。



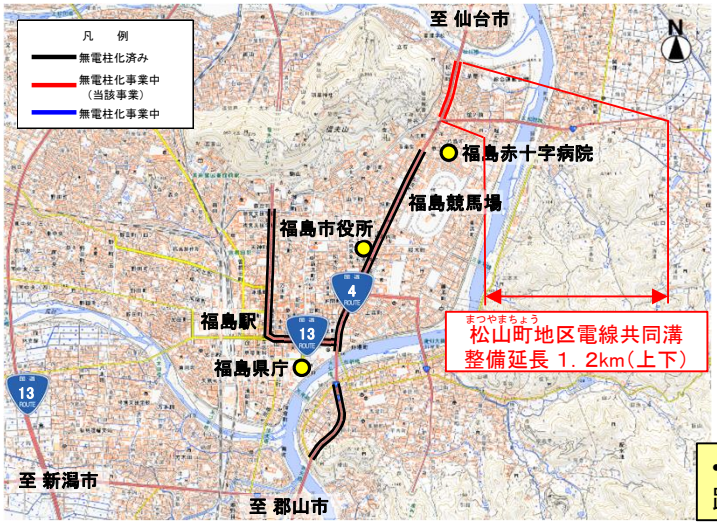




▲右折車の様子

| 国道4号　松山町地区電線共同溝 | | R8：153百万円<br>開通予定：ー | |
|---|---|---|---|
| 継続 | 福島県福島市 | 道路 | 直轄 |

　松山町地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。







▲ 国道４号の電柱状況

・電線共同溝の整備により、災害時における緊急輸送道路の確保等が図られます。

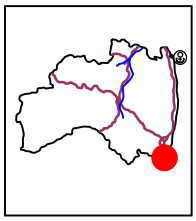
## 小名浜港　国際物流ターミナル整備事業

R8：1,191百万円
完成予定：R15

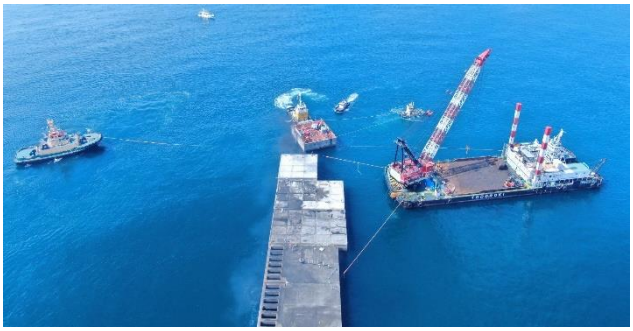
| 継続 | 福島県いわき市 | 港湾 | 直轄 |
|---|---|---|---|

小名浜港において防波堤の整備を推進し、港内静穏度の確保による荷役作業の安全性・効率性の向上を図ります。また、航行船舶の安全のため避泊水域※の確保を図ります。

※沖合を航行する船舶が荒天時に避難することができる安全な水域





▲防波堤整備の様子（ケーソン※据付）

※ケーソン：防波堤を形成するコンクリート製の箱

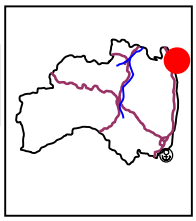
港湾利用者の安心・安全と輸送コスト削減に寄与します。

## 相馬港　予防保全事業

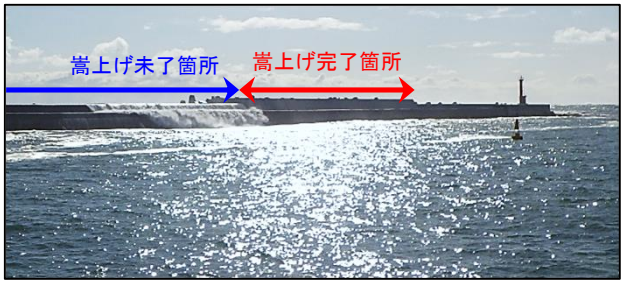
R8：194百万円
完成予定：ー

| 継続 | 福島県相馬市、新地町 | 港湾 | 直轄 |
|---|---|---|---|

相馬港において防波堤(沖)の改良（かさ上げ等）を推進し、頻発化・激甚化する台風等に伴う高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。






▲未施工箇所の越波状況

防波堤（沖）の改良を推進し、高潮・高波による港湾内の被害軽減を図ります。

# （参考）国道399号　伊達橋（だてはし）災害復旧事業

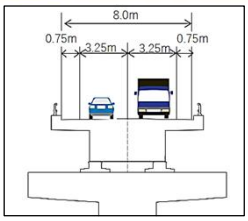
| 継続 | 福島県伊達（だて）市 | 道路 | 直轄 |
|---|---|---|---|

令和4年3月に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した福島県伊達市内の「国道399号伊達橋（福島県管理）」については、国土交通省の直轄権限代行により災害復旧事業を推進します。




新しい伊達橋のイメージ




■新しい伊達橋の概要
・延長 Ｌ＝２９０ｍ
・幅員 Ｗ＝８．０ｍ （２車線）

（橋梁形式のポイント）
・地震災害防止のため橋桁を軽量化
・橋台・橋脚は既設を利用し補強等を実施

※R7補正　897百万円
（うち、818千円はR7当初予算）